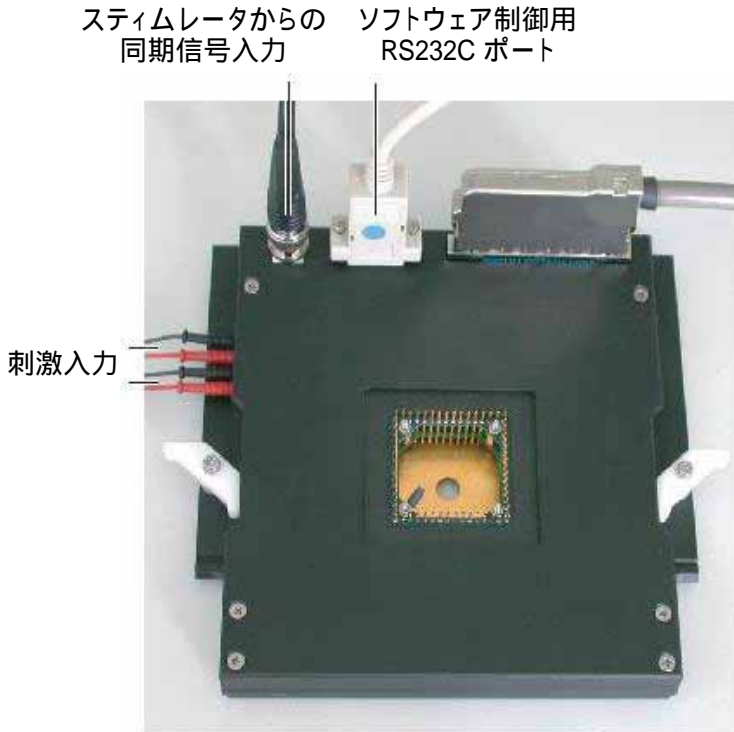


アーチファクト除去機能付きマルチ電極用アンプ「MEA1060BC」

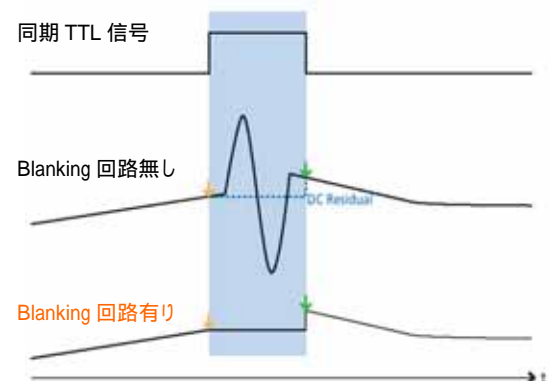


- ・ スティムレータからの同期 TTL 信号が入力されている間、一時的にアンプの入力をオフにします。これにより、刺激アーチファクトが生波形へ及ぼす影響を防ぎます。
- ・ アンプのサチュレーションが起こらないため、アーチファクトからのリカバリータイム中に信号が埋もれてしまうことはありません。
- ・ 生波形を記録する電極、刺激を出力する電極を、ソフトウェア制御により 60 個の電極アレーのどれにでも自由に割り当てることが可能です。
- ・ 刺激の入力は 2 系統あり、異なる 2 種類の刺激信号をどの電極からも出力することができます。

一般に、アーチファクトからのリカバリータイムはフィルターアンプの特性に依存します。リカバリータイムは、おおよそハイパスフィルターの時定数の 10 倍の時間となります。この間の生波形の記録を行うことはできないので、速い応答の信号の観察はこれまで不可能でした。

解決！！

「MEA1060BC」はブランキング回路を組込んだマルチ電極アレー用のアンプ兼ヒーティングステージです。スティムレータからの同期 TTL 信号が入力されている間、電極アレーからアンプまでの経路がシャットされ、アンプのサチュレーションがおこらず信号はフラットに保たれます。同期 TTL 信号がストップすると即座に記録は再開され、応答の速い信号も記録することができます。



これは、LTP/LTD の研究を行う上で、テタヌス刺激等の後即座に活動電位の測定が行え、極めて有効なシステムです。



バイオリサーチセンター株式会社 URL : <http://www.brck.co.jp> e-mail : sales@brck.co.jp
 名古屋 / 〒461-0001 名古屋市東区泉二丁目 28-24 ヨコタビル 4F TEL(052)932-6421
 東京 / 〒101-0032 東京都千代田区岩本町二丁目 9-7 REC ビル TEL(03)3861-7021
 大阪 / 〒532-0011 大阪市淀川区西中島 6 丁目 8-8 花原第 8 ビル 203 TEL(06)6305-2130